

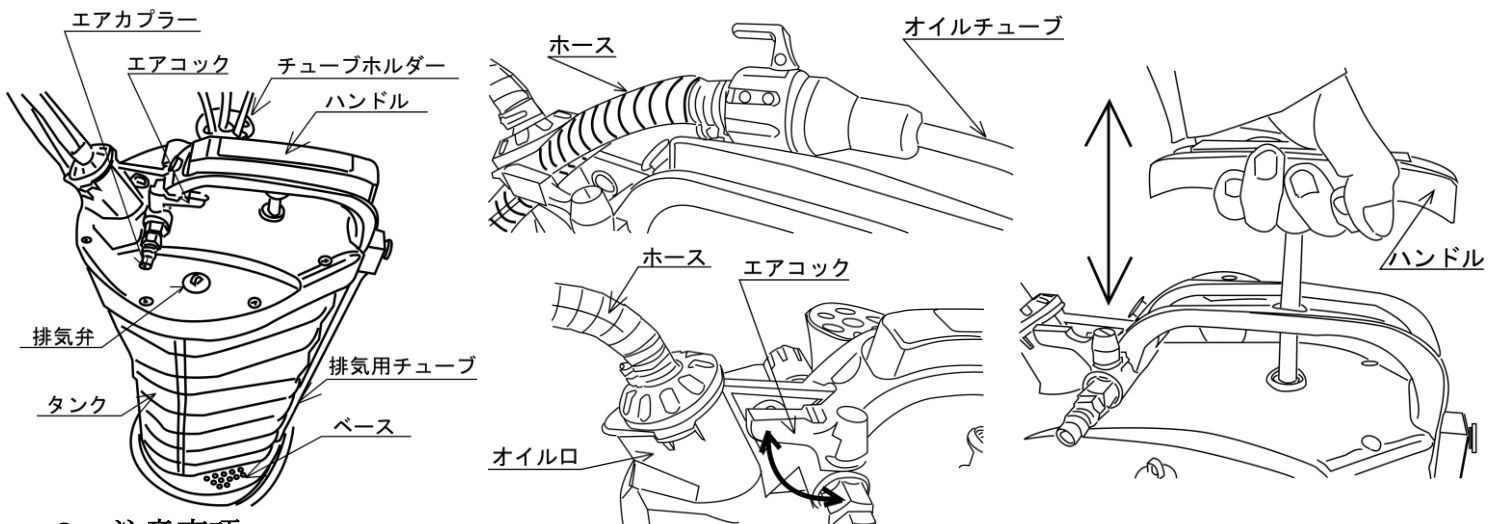
取扱説明書

オイル・チェンジャー

品番：# 37323000 型式：P1011A

1, 使用方法

- ①エンジンオイルを抜く車両を水平な場所に駐車し、ミッションをニュートラルかパーキングに入れて、サイドブレーキを掛けて下さい。
- ②車両のエンジンを始動させ、エンジンオイルが60度程度になるまで暖気運転して下さい。その後、**エンジンを止めて**下さい。
- ③車両のオイルレベルゲージを取り外し、車両に合った長さ（オイルパン底部に届く長さ）のオイルチューブをホースに接続して下さい。
- ④ホースの他端を本機のオイル口に挿入して下さい。
- ⑤**エアで使用する場合は**、エアカプラーにコンプレッサーを接続して下さい。
- ⑥エアコックをエアカプラーと平行になる様に回して下さい。
- ⑦オイルチューブを車両のオイルレベルゲージの穴に奥まで挿入して、オイルを吸入して下さい。
- ⑧**手で吸入する場合は**、オイルチューブを車両のオイルレベルゲージの穴の奥まで挿入して下さい。
- ⑨ベースを足で押さえながらハンドルを数回上下させると、オイルを吸入する事が出来ます。オイルの吸入が始まるとタンク内の負圧によって、ハンドル操作をしなくてもオイルを吸入する事が出来ます。オイルの吸入量が減れば再度ハンドルを操作して下さい。
- ⑩**途中で吸入を止める場合は**、排気弁を上方向に持ち上げて下さい。タンク内部の負圧が抜けてオイル吸入が止まります。エアで吸入している場合は、エアコックをエアカプラーに対して垂直になる様に回して下さい。
- ⑪タンク内がオイルで満たされると、⑩の操作をして、オイルの吸入を停止させて下さい。
- ⑫オイル吸入後は、車両のオイルレベルゲージの穴からオイルチューブを抜き、本機のオイル口からホースをはずして下さい。
- ⑬本機を傾けて、タンク内部のオイルをオイル口から抜いて下さい。
- ⑭付属のオイルチューブは使用后、チューブホルダーに保管して下さい。



2, 注意事項

△警告 (この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。)

- ①本機の使用空気圧は500~800kPa (5.1~8.16kg/cm²) です。規定範囲外の空気圧で使用しないで下さい。
- ②オイルが熱い場合は、チューブやホース、タンク等が熱くなります。耐熱性の手袋等をして、慎重に作業を行って下さい。
- ③可燃性物質や、火気のある場所では本機を使用しないで下さい。

△注意 (この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。)

- ①子供の手の届かない場所で使用、及び保管して下さい。
- ②直射日光の当たらない場所で保管して下さい。
- ③本機を保管する場合は、必ず、ホースやオイルチューブ、タンク内に残ったオイルを完全に抜いて下さい。
- ④本機はエンジンオイルとギアオイル (SAE粘度140まで) の交換作業に使用する機器です。その他の用途には使用しないで下さい。
- ⑤車輛からオイルを抜き取る場合は、必ず、**車のエンジンを止めて**下さい。
- ⑥長距離走行後等、オイルが熱い場合は使用を控えて下さい。
- ⑦本機は汎用タイプの為、車種によっては使用出来ない場合があります。ご了承下さい。
- ⑧オイルの温度、粘度により、吸入時間は異なります。
- ⑨ハンドル操作での吸入作業時で、タンク内に負荷が掛かっている時は、ハンドルを一番下まで押し下げても少し浮き上がります。
- ⑩排気用チューブを持って、本機を移動させないで下さい。又、負荷を掛けないで下さい。破損の原因になります。